

新聞紙を用いた造形活動について(II)

井戸 裕子
(東京家政大学)

はじめに

本研究は、日本保育学会第51回大会にて、発表した研究の継続研究である。

1. 目的

第51回大会は、造形技法の“丸める”“ちぎる”“ねじる”の3技法により何を表現したかについての考察を行った。

今回は、表現方法を④立体表現 ⑤半立体表現 ⑥平面表現の3種類に分類して考察を行う。

2. 方法

<実施方法>

- ・材料は、新聞紙全紙大1枚、白ハツ切画用紙1枚を一人一人に配布する。
- ・『今日は、新聞紙で遊びましょう』と、ことばをかける。
- ・新聞紙を扱う技法は、自由に、好きなようにさせる。
- ・のりやセロファンテープは、要求に応じて使う。

<実施対象>

- (1) 東京家政大学児童学科児童学専攻1年生 79人
- (2) 東京家政大学附属みどりが丘幼稚園5歳児28人

<調査実施日・時間・場所>

- (1) 1997年6月27日・午後4時30分～5時30分・東京家政大学 リズム遊戯室 (児童学専攻学生)
- (2) 1997年9月25日・午前10時30分～11時・東京家政大学附属みどりが丘幼稚園 青組室内 (5歳児)

3. 結果 および考察

(1) 学生・幼児が示した技法について

“丸める”という技法は、新聞紙をぐしゃぐしゃにして丸くする。

“巻く”というのは、例えば剣を作る時のように、紙の端からクルクルとカールさせる。

“ねじる”と“ひねる”の違いは、“ひねる”は、1回だけねじる技法を言い、“ねじる”は、ひねる

ことを繰り返し行われ、紙を細長くこよっている状況である。

“ちぎる”は、細長く、あるいは、細くきれきれにした技法。

“裂く”は、二つに分けるような切り方の技法。

“破る”は、穴をあけるような裂き方の技法。

“切れ目を入れる”は、切り離さずに、途中まで切り込みを入れる技法。

“折る”は、折り紙をする様に、角と角、辺と辺等、合わせて折る技法。

“ジャバラ折り”は、扇のように山折り、谷折りを繰り返し行われる技法。

“紙バネ折り”は、ジャバラ折りを二つ組み合わせて、バネのように伸縮する折り方の技法。

“たたむ”は、折り返してかさねる技法。

“重ねる”は、作った物の上に、さらに他の物とのせる技法。

“かぶせる”は、帽子やかぶとなどを作った物を他の物(例えば動物など)に上から覆うようにしてかぶせたり、中が見える状況で半分ぐらい包まれている技法。

“包む”は、中がすっかり覆われて、外側からは見えない技法。

“詰め込む”は、中を空洞にするのではなく、丸めたり、ちぎった紙を詰め込むことにより、出来上がった物にボリューム感を出すための技法。

“結ぶ”は、リボン結び、蝶々結び、片結びなどのように、細長くねじった物を結んでつなげる技法。

“編む”は、縦横に組み合わせたり、自由にからませたりした技法。

“三つ編”は、三本の細長くねじった物を束ねて、1本ずつ交互に編む技法。

“穴をあける”は、くぼんだ所を作る状況や、くぼませた先まで突き抜ける技法。

“切りぬく”は、ちぎって中を抜き取る技法。

“ふくらます”は、ふわっとさせることで、例えば、紙風船などを作った時に空気をいれてふくらませる技法。

“つぶす”は、おしつけてぺしゃんこにする技法。

“止める”は、例えば、てるてる坊主を作り、ねじ

っただけでは、ほどけて来るので、そのねじった所を止めた技法。

“貼る.. は、のりやセロファンテープなどで、他の物につける技法。

“差し込む.. は、紙と紙をつなぐ技法として、切り込みを入れ、その中につなぐ物を差し入れる技法である。注1)

(2) ①立体表現 ②半立体表現 ③平面表現 を(1)に示した技法により分類

① 立体表現は、“丸める..” “巻く..” “ねじる..” “ひねる..” “結ぶ..” “編む..” “三つ編..” “重ねる..” “かぶせる..” “包む..” “詰め込む..” “ふくらます..” “つぶす..” “止める..” “差し込む..” の技法を使ったの表現

② 半立体表現は、“折る..” “ジャバラ折り..” “紙バネ折り..” “たたむ..” の技法を使ったの表現

③ 平面表現は、“ちぎる..” “張く..” “破る..” “切れ目を入れる..” “切りぬく..” “穴をあける..” “貼る..” の技法を使ったの表現である。

(3) 5歳児の表現 について .

- ① 立体表現 14,
- ② 半立体表現 13
- ③ 平面表現 3

• 立体表現は、ボール・ドリル・剣・ボールにのったうさぎ・雪だるまを表現し、“丸める..” “巻く..” という技法を1種類だけ使用して表現した。

• 半立体表現は、かぶと・帽子・ピア・大きい飛行機・うさぎ・紙鉄砲を表現し、すべて“折る..” 技法を用いて 折り紙の様に表現した。

このクラスの5歳児は、4歳児の時から折り紙が大好きな子ども達であり、紙を折ることが、自然に出来てしまうという特徴があらわれている。

• 平面表現は、おにぎり・門・バツク・雪を表現し、“ちぎる..” 技法を用いて表現した。

ハサミを使用して、三角形に切り、おにぎりを表現 5歳児 青組室内で実施したので、ハサミ、セロファンテープ、サインペンなど自由に使用できるので、この様な結果が表現された。

(4) 大学生 (児童学専攻1年生) の表現 について .

- ① 立体表現 78.
- ② 半立体表現 0.
- ③ 平面表現 1.

• 立体表現は、かんむり・花束・てるてる坊主・バットとボール・フォークとスプーン・キャンディー・恐竜・顔・ツイストドーナツ・メガネ・ヒヨコ・お面・さくらんぼ・カバン・帽子・電話・お弁当箱・フルーツバスケット・蝶といもむし・かぶ・羽根つきの羽根リボン・アイスクリーム・花火・指輪・変装グッズ・ライオン・レフボ・ブレスレット・スパゲッティとお箸・スキップしている人・イカ・タコ・かたつむり・チューリップ・貝がらとヘビ・ネクタイ・ほうき・サリガニ・フライドポテト・輪投げ・おたまじゃくし・カレーライス・女の子・等々を表現し、“丸める..” “巻く..” “ねじる..” などの2種類以上の技法を用いての表現である。

• 半立体表現は、“折る..” 系列の表現である。大学生の表現は、この技法だけを使ったの表現は、みられないが、“折る..” “ジャバラ折り..” “紙バネ折り..” “たたむ..” の技法も使い、プラス“丸める..” “巻く..” 系列の立体表現になったためである。

• 平面表現は、お面の表現がみられ、“ちぎる..” 技法で、顔の形に好きなようにちぎり、目、鼻、口をちぎって表現した。

大学生の表現でこの平面表現だけが、ちぎる技法1つだけの表現である。

4. まとめ

第51回大会では、造形技法の中から多く用いられた“丸める..” “ちぎる..” “ねじる..” の3技法によって、何を表現したかについて考察を行った。その結果、象の表現と例に、① 立体表現 ② 半立体表現 ③ 平面表現 の3種に分類することができた。

ここでは、② 半立体表現と 平面表現と立体表現が混ざった表現と考えたが、“折る..” “ジャバラ折り..” “紙バネ折り..” “たたむ..” の4つの技法を使ったの表現を 半立体表現として分類した。

今後は、短期大学2年生の表現されたものも加えて検討したいと考えている。

引用文献

注1) 東京家政大学研究紀要 第38集(1998年) P.64~